

「物を活かし、人を生かす」プロジェクト

日本リユースシステムと
東都クリエート

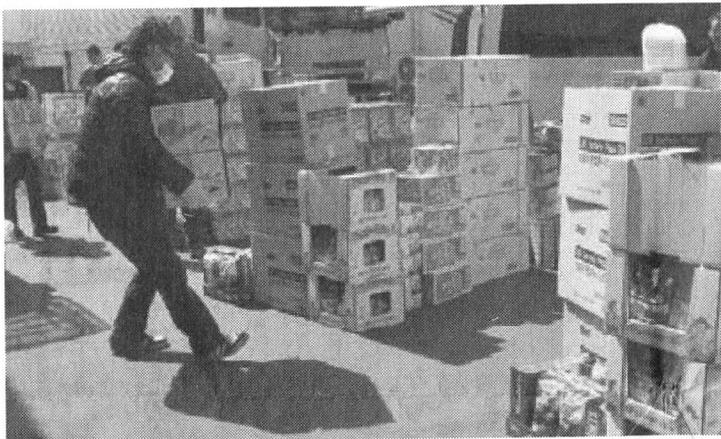
総合リユース・リサイ

クル業の日本リユースシステムとグループ会社の東都クリエートは共同で、「物を活かし(不用品)人を生かす(命)」をキャッチフレーズに、本業を通じた被災者救済プロジェクトを立ち上げた。東都クリエートは東北を中心にリサイクルショップチェーンを約130店舗展開しており、今回の震災で壊滅的な被害を受けた。また、日本リユースシステムの東北拠点も被害を受けた。こうした中で、リユース・リサイクル業ならではの支援事業を展開することを

決めた。

東都クリエートと取引のあるショッピングサイトのある運営企業などに、会員の家庭で不要となった貴金属・装飾品などを買い取り、その金額を震災支援金として寄付するかポイント・クーポン等に交換する仕組みを提案している。例えば買い取り金額が3万円の場合、1万5千円を寄付して残り1万5千円をポイント交換するなど、任意で選択できる。

集まった支援金で企業が物資を調達し、その物資を日本リユースシステムと東都グループが直接



日本リユースシステムと東都クリエートは本業を生かして被災地に物資を供給

被災者に供給する。日本リユースシステムの山田正人代表取締役は、「実際に現地に行くことテレビ等で報道されているのは実情が食い違っている面がある。物資が届かなくて苦しんでいる方々はまだまだ多い。単に義援金を送るというのではなく、自身も被災者ならでは、そしてリユース・リサイクル業ならではの支援を行っていきたい」と話している。